

## 《プロジェクト名 水稲栽培における施設整備と新規にんにく栽培導入プロジェクト》

市町村	長井市	対象地域	長井市今泉地区	分野	土地利用型作物
実施主体名	酒井喜三	代表者氏名		住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	長井市
実施主体構成	個人				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	21,060千円（6,880千円）					
	独自の目標項目	水稲栽培1000a(自作地750a)→1300a 作業受託（換算数値）250a→400a にんにく栽培 新規→50a					
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）	
	産出額	14,180千円	14,180千円	15,650千円	17,330千円	19,140千円	21,060千円
	独自の 目標項目	水稲部門1000a・作業受託250a、にんにく10a	水稲部門1000a・作業受託250a、にんにく10a	水稲部門1050a・作業受託300a、にんにく20a	水稲部門1100a・作業受託350a、にんにく30a	水稲部門1200a・作業受託365a、にんにく40a	水稲部門1300a・作業受託400a、にんにく50a
プロジェクト 概要	◎実施方針	食の安全・安心をモットーに環境にやさしく持続的生産が可能な特別栽培生産の拡充を図る					
	○産出額の増大	栽培面積及び作業受託の拡大 新規にんにく栽培導入による産出額の増大を行う					
	○雇用の創出	H21 専従者1人臨時雇用延べ70人→H26 専従者1人臨時雇用360人（3名×15日/月×8カ月）					
	○創意工夫	特別栽培米の拡大・つや姫の生産拡大（H22 200a栽培）、施設整備による作業の効率化、軽作業化 育苗ハウスのにんにく乾燥調整施設(遮光資材利用)としての有効利用、にんにくのマルチ栽培・ハウス栽培の実証、屑球利用による葉にんにく冬季ハウス栽培の検討					
	○実現性	地域全体が特別栽培米の啓蒙生産販売を実施している地区であり、生産販売体制も地区内農業法人・JA一部直販と確立されている。にんにくについては関係機関の協力を仰ぎながら、国産の優位性を保つため大玉生産技術の習得と貯蔵性が高い作物であり市場を見据えた販売を行える					
	○地域への波及効果 ○その他	水稲単作から複合化(越冬作物栽培)へのひとつのモデルとなる 籾殻のレインボープランへの全量供給・育苗籾殻マットを使用し資源循環をさせている。エコファーマー取得					

事業計画		実施年度（平成22年度）	実施年度（平成23年度）
	事業内容	育苗ハウス・灌水設備・籾搬送機・籾摺機米選機・玄米貯留タンク付自動計量機・にんにく種子	遠赤外線乾燥機